

(2) 土地利用

本地域の土地利用は、大部分が住宅地となっている。中部から北部にかけては中高層住宅がまとまってみられ、東部から南部、西部の一部にかけては、低層住宅が分布している。

業務施設は小規模なものが点在し、工業施設が南西部にみられる。

学校などの公共施設は北部や南部などに、公園は各所に点在している。

(3) 道路網

本地域には広域を連絡する幹線道路はない。南部の神崎川沿いに広幅員の相川北江口線がみられる他はやや幅員の広い道路が南北に2本通っている。

区画道路は、一般の生活道路で、乗用車の対向が可能な幅員の道路で、中部から東部に整備されている。

狭隘道路や行止り道路は、乗用車の対向がしにくいかできない道路や袋小路となった行止りの道路で、南部から東部にかけて多くみられる。

2-4. 災害予測等

(1) 水害予測

① 淀川外水氾濫

淀川の外水氾濫予測図によれば、本地域は、浸水深の最大は4m～5.5mで、中部、南東部、南西部などにみられる。3m～4mの区域は、ほぼ全体に広がり、東部や西部の一部には2m～3mの浸水深となっている。

収容避難所である井高野小学校は、この図によれば、1階まで浸水する予測となっている。

図 土地利用図



資料) 国土地理院

図 道路網図



作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

図 外水氾濫予想区図(淀川)



作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

②神崎川外水氾濫

神崎川の外水氾濫予測図では、本地域は、最大1m～2mの浸水深で北部のごく一部となっており、中央部には0.5m～1mが広がり、周辺部には0.1m～0.5mが一部にみられる。

井高野小学校は1階まで浸水すると予測されている。

図 外水氾濫予想区図(神崎川)



作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

③内水氾濫

内水氾濫予測図によれば、本地域は、0.1m～0.5mの浸水深が中部から東南部や西南部にかけて広がっている。

井高野小学校は1階も浸水しない予測となっている。

図 内水氾濫予想区図



作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

(2)地震予測

①上町断層震度予測

上町断層が活動した時の震度予測は、震度予測図によれば、本地域は全域が震度6強の激しい揺れが発生するものと予測されている。



図 震度予測図



資料) 大阪市危機管理室